

て立憲的になり、工場民主の實を發揮しなくてはならぬのである。之が工場立憲主義の出発点である。然かし此運動の背景には英國の長い歴史がある。

英國工場立憲主義の運動

英國工場立憲主義の運動は三つの方面から来た。一つは、労働不安そのものが持ち来つた自然の結果で今日の労働不安が無ければその必要は無かつたらう。即ち面白いことは工場立憲主義は英國の政府委員自ら労働不安に備へる準備として提出した労働問題の解決案であると云ふことである。

もう一つの工場立憲主義の運動は「工場代議員制度」即ちシヨフ

ブ、スチュワード Shop Steward 運動から来てゐる。更に第三の点は思想の方面からであるが之はギルドンシアリズム或はナシヨナルギルド即ち社会組合主義の刺激の結果にある。それで私は第一から順序に話して見たいと思ふ。

英國資本家の覺醒

工場立憲主義は社会主義とも違ひ、労働組合とも違ふ。それは確かに獨立した一つの運動として英國の産業界に存在して来てゐた。然しこれ等は資本家の御都合主義から出たものとして、社会主義者にも同様に排斥せられて来て居つた。然し一面社会連帯の概念が強くになると共に工場自治の主義がやかましくなり（労働組合は之まで